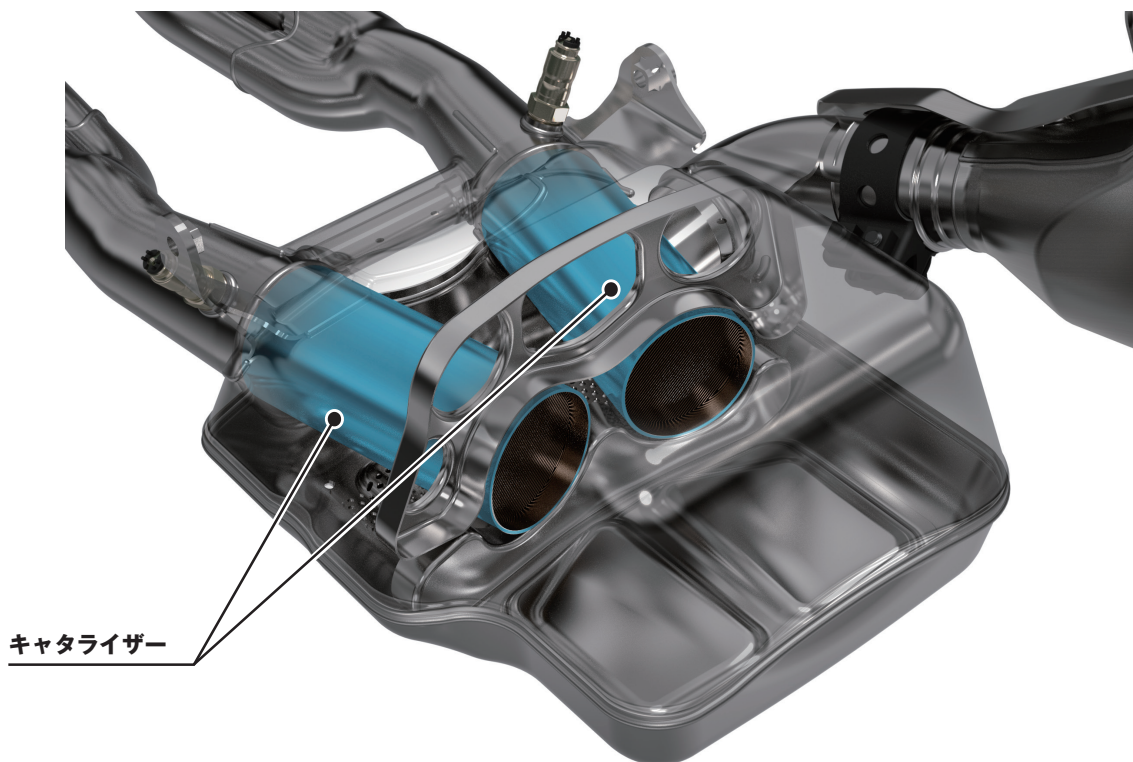


●排気系(2)

チャンバーの構成では、エンジン、フレーム、スイングアーム、バンク面に囲まれた限られた空間に片側2個ずつ計4個の触媒をコンパクトに配置することにより最新のエミッション法規に適合させました。さらに、左右触媒より前部で4-2排気管集合部をつなぐ連通管を設け、各エキゾーストパイプ長の違いからくる気筒間の出力差を平均化することで、ピーク出力を損なうことなく出力の谷を補い、4000~6000rpm時のトルクを向上させました。

■チャンバー内部構造図



これら、コンパクトにレイアウトされたチャンバーや、部位ごとに最適な板厚としながらもより一体化を進めた構造により、エキゾーストパイプからマフラーまでの排気系パーツで従来モデル*比約4500gの軽量化を図り、運動性能向上に大きく寄与しています。

外観では、マフラー外板を金属ならではの素材感を持つヘアライン仕上げとし、併せてテールキャップには新開発の黒メタリック耐熱塗装を採用することでマフラーエンドを引き締め、より高品位な外観を実現しています。

※ 国内未発表、欧州向けモデル